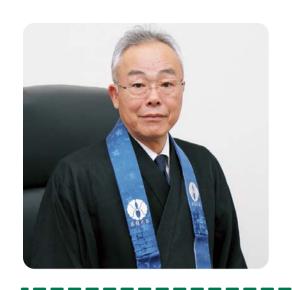


HAKODATE OTANI





# 人として生きる眼を育む

学校法人 函館大谷学園 理事長 門 間 佳 一

先月30日にて第5波の影響下の中での緊急事態宣言が解除されました。しかしながら、道が提唱する「新北海道スタイル」が示すように、完全に元の生活へ戻ったとは言えないのが今の私たちの現状です。これまでに私たちが経験から学んだことは、今まで当たり前のように通り過ごしてきたことが、実は喜ぶべきことで溢れていたことだったという疫禍からの教訓でありました。それは、命や健康をはじめ、人と会えることなどの「尊さ」を今一度深く見つめる促しではなかったのでしょうか。

毎日報道される新型コロナウイルス感染症の情報が心を重くする中、9月22日のニュースに「小児がん"神経芽腫"再発抑える新薬初承認」という明るい見出しを見つけました。同時に忘れかけていた一人の少女の詩と二十数年ぶりに再会いたしました。

『命』 宮越由貴奈(小学4年)

命はとても大切だ 人間が生きるための電池みたいだ でも電池はいつか切れる 命もいつかはなくなる 電池はすぐにとりかえられるけど 命はそう簡単にはとりかえられない 何年も何年も月日がたってやっと 神様から与えられるものだ 命がないと人間は生きられない でも「命なんかいらない」と言って 命をむだにする人もいる まだたくさん命がつかえるのに そんな人を見ると悲しくなる 命は休むことなく働いているのに だから 私は命が疲れたと言うまで せいいっぱい生きよう

5歳で神経芽細胞腫と診断され、11歳でこの詩を書いた 4ヶ月後に亡くなりました。

短い人生のほとんどを闘病生活に強いられながら、難病と向き合った少女の言葉です。

お母さんは「書くことがそんなに得意ではなかった娘の 『命』という詩は、11年という短いけれども凝縮された人生 の中で得た勉強の成果なのではないかと思います。」と娘 を称えました。

お経に「身自営之無有代者(身、自らこれを当くるに、有も代わる者なし)」という言葉があります。私の人生、私のいのちは誰も代わる者はいないということです。どんなに我が子が辛く苦しんでいようとも、親であっても代わることはできない。厳しさと、だからこそ私自身が尊いということなのでしょう。

親鸞聖人は「よろこぶべきこころをおさえて、よろこばせざるは煩悩の所為なり。しかるに仏かねてしろしめして、煩悩具足の凡夫とおおせられたることなれば、他力の悲願は、かくのごときのわれらがためなりけりとしられて、いよいよたのもしくおぼゆるなり」と、喜ぶべきことが喜べないでいるのは私たちの計らいの心からであり、だからそういう

者をこそ仏が救わず におれないのだと 言われます。

〈かけがえのない「わたし一人」の発見と自覚〉という建学の精神を通し、出会いを喜び、一人という「尊さ」が見つめられることが、人として生きる眼を賜わる姿です。



# 短期大学



# ひとと ずっと いきいきと

# インターンシップ実施状況

コミュニティ総合学科 では夏休期間を利用して、 2年生全員が10日間のイン ターンシップに行ってき ます。今年度は函館市・ 北斗市にある23の企業 等へそれぞれが実習に



向かいました。皆、実習前に習する企業の理念や特徴を調べ、 実習で学んでくる目標を各自が立てました。その内容を 7/24に行ったインターンシップ壮行会でコミュニティ総合 学科1・2年、教員参加の元発表し、実習への意気込みを話し てくれました。

インターンシップの内容は様々ですが、ホテルでフロント から客室整備まですべてを研修してきた学生や、IT企業に 参加して実際にコンピュータプログラミングをしてきた 学生、さらには市内フリーペーパーの取材・校正・記事作成 まで携わった学生など様々でした。

実習から帰ってきたら、学内で行われるインターンシップ 報告会で実習の様子を話してくれる予定です。

皆、社会人としてやっていけるという自信が持てたよう でした。

# 経済学・経営学について 研究しています!

短大の講義では、経済・経 営・マーケティング科目および 販売士検定対策講座を教えて おります。ゼミ活動では、学内 の売店運営を通じてマーケ ティングの実践的学習に取り 組んでおります。



小学生時代に住んでいたことのある函館に、本学の教員 として帰ってくることができてとても嬉しく思っております。 函館は昔と変わらず魅力にあふれる街ですが、人口減少な ど見過ごすことのできない課題も抱えております。本学で の教育活動をもって地域の担い手育成に邁進するととも に、函館の経済や経営環境に関する研究活動を通じて学 問・実践の両面から貢献できればと思っております。



# FMいるか「Campus Days!」出演中

函館市一帯をカバーする コミュニティFMラジオ局 「FMいるか」(80.7MHz) で制作する市内大学生に よるバラエティ番組「キャン パスデイズ」(2021年度は 土曜日17-19時)に本学



学生も番組出演しております。(http://www.fmiruka.co.jp/ programs/campusdays/) 北海道教育大学函館校·公立 はこだて未来大学・函館工業高等専門学校・函館大学を 含めた5校による週替わりの2時間番組です。本学からは 「ひょうたんべいベー!」というタイトルで学生たちが事前 に企画を用意し、実際にリスナーに向けてお話します。 「オープンキャンパスなどの大学行事」、「日頃の授業やイン ターンシップ、施設実習などの学生生活」、「趣味や最近の 流行」、「函館の魅力や穴場スポット」、「絵本の朗読」といった コーナーを用意したり、リスナーからのメールへの返答も したりして、2時間楽しくおしゃべりしています。ラジオ番組 に関わるという貴重な経験を得ることができます。皆さん もお時間がありましたら是非ともお聴きください。

# 地域活性化プロジェクト

コミュニティ総合学科 では、毎年9月~12月に かけて、産学官連携PBL である「地域活性化プロ ジェクト」を実施していま す。このプロジェクトで は、函館市や市内企業か



ら持ち込まれた課題について、学生が今まで学んできた マーケティング知識やプレゼンテーション技術を用いて、 それらの問題解決を行うプロジェクトです。

学生たちは、この期間に問題解決に向けSWOT分析や アンケート調査のデータを基に企業等へ改善策を発表し ます。過去の商品開発では、その商品の販売に向け企業が 名乗りを上げたこともあります。

今年度もこのプロジェクトは実施され、遅くとも12月に は、各課題の問題解決案が提示されることになります。

# 高等学校



# THE DAY SURELY COMES ~その日はきっと来る~



# 校長だより

### 校 長 丸山 政秀

<身土不二>

学校状況としては、感染症予防対策をとりながら教育活動をしていますが、新型コロナウィルス感染症による影響が1年半ほど続いているところでもあり、いまだに終わりが見えない中での疲労感は生徒・教員・保護者ともに隠し切れない状況にあるかと思います。

少し前に目に「身土不二」という言葉に出会いました。

人間は元来、身体(身)と自然(土)とを切り離すことのできない一体的なもの、つまり「身土不二」であると。人間も自然の一部であり、その土地に生きる生物は、その土地で得られる食物を食べることで、その土地に生きる適応力を身に付け

ているのです。また、住んでいる 土地・地域の身近な産物を大切 に食すること、すなわち「地産地 消」を進める言葉でもあります。

「地産地消」で健康体を維持し、しっかりと感染症予防対策を取りながら、明るく日々の生活を送ってほしいと思います。

コロナ禍ですが、生徒は元気 に学校生活を送っています。

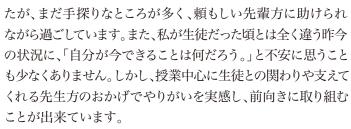


# 新任教員からの一言

### 教 諭 隈元 夢乃

私は今年度から二学年の副担任 と国語教諭を務めさせていただい ています。

函館大谷高校で教員生活を スタートしてから半年ほど経ちまし



私の目標は生徒と共に学び続け、これから社会に出る子供たちの「支え」になることです。教師として、そして人として今後も努力を惜しまず、日々邁進していきたいと思っています。

### 教 諭 斎藤 武治

私は、今年で教員16年目を迎えます。その間、道内の大谷高校で、宗教科を担当していました。今年度より、縁をいただき、函館大谷高校に勤務することになりました。



また「大谷」の建学の精神のもと、働けることに喜びを感じています。

私たちをとりまく社会はコロナ禍で大変な状況となっております。様々なことが制限され、生徒の皆さんも悔しい思いをしたことでしょう。ただ、こんな時だからこそ、親鸞聖人のみ教えに自分自身を照らし合わせながら、「どう生きてきたか?」また「どう生きるか?」について考えていくことが必要だと思います。私はどちらかというと不器用な人間です。そんな自分ですが、授業にも生徒指導も、進路指導も、サッカー部の活動にも、謙虚に精一杯に取り組んでいきます。共に歩んでいきましょう。宜しくお願い致します。

# 青稜祭を実施して

# 生徒会長 土井 香葉

昨年はコロナ禍で何も行事を行うことが出来ず、私たち生徒会として初めての行事が「青稜祭」でした。何もかもが初めてで生徒会の中でもたくさん話し合いを続け、「生徒全員が楽しめるように、そして思い出に残るように」と毎日残って考えていました。先生と意見のぶつかり合いもあり、何が正しいのかわからなくなる事もありましたが、コロナ対策もしっかり考えた上で実施することが出来ました。1・2年生はリモートでの参加でしたが、3年生だけでも体育館に集まれたことは嬉しかったです。各クラスの出し物やカラオケ大会など、3年生を中心に盛り上げてくれ、花火大会では生徒だけではなく先生方もみんな笑顔になり、学祭が出来て良かったなと改めて思い

ました。協力して頂いた 関係者の皆さんには感謝 しかありません。ありが とうございました。まだ まだコロナの終息は見え ませんが、これからの残 りの学校生活を楽しみた いと思います。



# 附属認定ごども園



# 笑顔あふれる楽しい毎日!! みんないっしょにおおきくなろう!



### 夏の思い出☆ ~夏まつり・体験オリンピック~

子どもたちの経験が制限される中、密にならないよう考慮した上 で父母の会役員の方々が中心となり、夏祭りや体験オリンピックが 開催されました。夏を感じたり、色々な体験をしたり楽しい一日と なりました。カラフルなちょうちんに大きなやぐらなど、お祭りの雰囲



気に包まれながら行われた年中組の夏祭り。 ヨーヨー釣りや魚すくい、的当てなど、苦手な 所は親子で協力しながら、できた時には歓声 をあげ大盛り上がりでした☆

たくさん遊んだ後には、やぐらを囲んで、 いか踊りを元気いっぱいに踊り、親子で楽 しい夏の一時を過ごすことができました。





# メラの向こうの さん・お母さんに届け~!!



コロナ禍でも感染対策をしながら、子ども たちが目標に向かって頑張ったり、友達と 協力することに喜びを感じたりできるよう 様々な活動を進めてきました。人数制限や 無観客での行事もあり、子どもたちの姿を

お伝えする機会として、遊戯会や卒園式などLIVE配信で行いました。

保育部の遊戯会当日はいつもと違う 雰囲気を感じ、緊張している様子…。 大きなビデオカメラが気になり、ちら ちら…そわそわ…カメラとにらめっこ。 カメラの向こうには大好きな、お父さん



やお母さんが応援していることを伝えると、自然と笑顔になり、手を 振る姿も見られました。いつも以上に張り切って踊る子、ちょっぴり

泣きながらも頑張ろうと葛藤したりする姿 など…一人一人の成長を見ていただけた と思います。

今後も乳幼児期に大切な人とのかか わり、また、心が動かされる遊びや意欲に つながる体験をたくさん味わえるよう、 子どもも大人も共に育ち合える保育を めざしていきたいと思っています。





年長組の体験オリンピックでは、物作りの コーナーや体を動かすコーナーなど様々な体験 ができるよう計画を進めて下さいました。体験を する中で、どのように作っていくか保護者と相談 しながら、じつくりと取り組む姿があり、草木染め では、出来上がりの模様や色を楽しみに親子で 想像しながら取り組む様子が見られていました。 また、一緒に体を動かしながら、心も開放され、

自然と笑顔になり楽しさを共感し合う姿がとても印象的でした。 親子で初めて挑戦するものも多く、新たな一面が見られた貴重な 経験になったと思います。

親子で過ごした特別な時間の中で、挑戦する気持ち・やり遂げた 達成感などが育まれ、また一つ子どもたちの成長につながったこと

と思います。この 様々な経験を今後 の保育に生かし、 子どもたちの成長 へと繋げていきた いと思います。





# みんなで育てた野菜♪

今年は園庭の「みんなの畑」を2つに 増やし、年長組でピーマンやトマトなど 11種類の野菜を植えました♪

大谷高校の用務員さんに植え方を教 えてもらい、心を込めて丁寧に植えました。 そして、みんなで野菜の育ちを知るため、 野菜のグループを決め、友達と気づいた



ことを出し合いながら、絵日記を描いています。毎週観察していく中 で、かぼちゃの葉っぱが大きくなっていることに気づき、自分の手と



大きさを比べたり、葉っぱが何枚 あるのか友達と数えたりしながら、 じっくりと観察し、生長を楽しみに していました♪

収穫の際には、野菜が大きく 育った様子をみんなで喜び、収穫

する度に歓声が上がりました★自分たちで育てたきゅうりは、いつも

よりもおいしく感じ、子どもたち

も大満足でした!

自分たちで育てることで、 食べ物の大切さを感じながら、 食についてみんなで考えていく ことができました♪



# 松前認定ごども園



# はじける笑顔 松前っ子!! みんなともだち。この指と~まれ!!



# さくら探検隊! 出発進行!



今年も4月下旬から5月中旬までの期間で、松前町の色々な桜を観察したり、調べたりする「さくら探検隊」に出掛けました。毎年、年長組が行っている取り組みで、園舎周辺の桜、専念寺、松前城などへ行き、いろんな種類の桜を探します。

4月下旬に、園舎周辺の「染井吉野」が満開になると「桜きれいだよ!」「早くさくら探検隊行きたい!」と楽しみにする姿が見られたり、実際に近くで観察し、いろんな桜に興味を持って桜の名前を覚えたりと、友達同士で「あの桜が好き!」と会話する声もたくさん聞こえてきていました。

また、園長先生から桜のことを教えて頂く機会もあり、専念寺にしかない「専念寺緋桜」の歴史についても興味を持ったり、質問したりと、積極的に取り組む姿がたくさん見られました。

今後も、桜の開花する時期に、この活動を続けながら、松前町の桜の魅力を子どもたちにも知ってほしいと思っています。







# きれいな桜、咲いたよ!

みんなが楽しみにしていた春の参観日! 2歳児クラスは、保護者と一緒に行う製作活動をしました。松前といえばきれいな桜! 参観日の頃にはちょうど桜の見頃ということで、なじみのある桜の花を題材にした 製作に。まずは桜の花びらの塗り絵を親子で挑戦!ピンク色や虹色など好きな色を自由に塗る子ども達。塗りにくい所はお父さんやお母さんがお手伝いしてくれていました。また、花びらに顔をつけたり、キャラクターを描いたり、オリジナリティーのある





桜の花びらが各家庭で完成していましたよ♪その後はお父さん、お母さんにお任せしてはさみで花びらをチョキチョキ♪子ども達ははさみへの憧れを胸に、期待の眼差しで覗いていました。最後は桜の木のイラストへ貼り付け作業です。お父さん、お母さんと一緒にのりづけをして、「せ~の、ぺったん!」と貼り付けて完成!各家庭の桜の花が集まり、とても賑やかで素敵な桜の木になりましたよ。一緒に作業をすること





で、様々な会話が生まれたり、共に作品を作り上げた喜びを共有できたりと、親子で笑顔溢れる春の陽気のような暖かな一日になりました♪

# 新緑公園へ行ってきま~す!

6月25日、園バスに乗って年中組と年長組が隣町の福島町にある、 新緑公園に園外保育に行ってきました。子どもたちはお弁当と水筒 を持ってこの日をとても楽しみにしていました!

バスの中では「はやく遊びたいな~」「一緒に遊ぼうね!」など、友達同士で楽しみにしながら会話をしている様子も見られていました。楽しく会話をしているうちにあっという間に公園に到着!ブランコや滑り台で遊んだり、公園の中を広々と使って鬼ごっこやかけっこをして体をたくさん動かしたり、元気いっぱい遊びました!また、近くの池の中をのぞいて「おさかながいるよ!」と友達と一緒に見て、いつもとは違う環境に喜んでいました!中でも一番楽しみにしていたのはお弁

当です!みんなで一緒に食べるお弁当は「おいし~!」ととても大満足な子どもたちでした。帰りのバスでは、「また行きたい!」と楽しかった出来事をみんなで話しながら、こども園に帰ってきました!

天気に恵まれた今年の園外保育は、

公園でたくさん 体を動かし、美 味しいお弁当た 食べ、子どもたち も笑顔で思い出 に残る一日とな りました。







# 大野幼稚園

# 

# 遊びが基本!!自然あふれる幼稚園 心も身体ものびのびと…



# ジブリの車窓から~どんぐり共和国の1日

昨年から年間を通して楽しんでいたジブリをテーマに、「E・Fどんぐり共和国の1日」を年長組で過ごしました!リュックに水筒、レジャーシートを入れて元気良くネコバスならぬ園バスに乗り込みます。探検と言う名の函館公園の園外保育では、ジブリチームに分かれて動物をじっくり見たり、木陰でキキのティータイムを楽しんだりしましたよ♪園に戻ると色々なキャラクターに変身した先生たちが、美味しいジブリご飯を作ってお出迎え♪この日はおみこし作りも楽しみ、海・山チームに分かれ、「ジブリの夏」をテーマにみんなで作りましたよ!最後には、サプライズでトトロの小包を担任から一人ずつ受け取り、お家でも余韻を楽しむことができました♪









# こねこね、もちもち、いいにお~い♡

砂や泥の感触が大好きな満3歳児・年少組の子どもたち。 梅雨の季節に楽しめる室内遊びとして、小麦粉粘土遊びに 挑戦しました。やってみたところ、やわらかい感触が大 ヒット!普段給食で食べているパンが小麦粉からできて いることを知り、真似て作ったり、ビーズやスパンコール などをトッピングしたりして楽しみました。ある日、『本当の パンみたいに焼いてみたいね!』という声が聞かれ、実際に トースターで焼いてみると…、保育室中がこんがりとした 良いにおいに!さっそく机に並べてお店屋さんになりきって おり、7月の親子レクでは親子でも楽しみましたよ♪

今後、子どもたちがどんなことに興味をもち、遊びが発展 していくのかが楽しみです!





# ☆A・B組Seaワールド☆

「お魚作りたい!」と図鑑を指差しながら話す一言から 水族館作りが始まりました。大きな画用紙にのびのびと 魚の絵を描いたり、大きなポリ袋を繋げて海を作ったり して、ひとつのものを誰かと一緒に作る楽しさや難しさ を知るきっかけとなりました。海中トンネル作りでは、 何度も失敗を繰り返し、友達同士でどうしたら海の中に なるのか話し合う姿が見られ、力を合わせてトンネル 作りに挑戦しています。一人では難しいことも大好き

な友達や先生と一緒なら チャレンジできるパワフル な子どもたち♪A・B組で 協力してどんな水族館が 完成するか楽しみです。







# 港認定ごども園

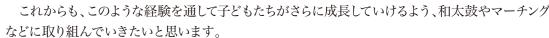
# 

# かわいい笑顔と笑い声 みんないっしょでたのしいね!



# ~和太鼓って楽しいね!~

港認定こども園では、体力・バランス感覚・リズム感を総合的に養うことができる活動として、マーチングや合奏の他に、和太鼓にも取り組んでいます。和太鼓は2歳児から取り組み、2月に行う和太鼓発表会を目指して練習します。昨年はコロナ禍の影響で2・3・4歳児は映像配信での発表となってしまいましたが、5歳児のみ保護者の前で発表を行うことができました。年長児が和太鼓発表会で演奏した曲は皆がよく知っている『紅蓮華』で、小さい組の憧れの的となり、0・1歳児の子どもたちまでが真似をするほどでした。3月のおわかれ会では、小さい組から卒園する年長児へ向けてお祝いの出し物を行います。年長児はそのお返しとして和太鼓を披露しました。『紅蓮華』と『ヨサコイ』の2曲を練習し、発表に臨みました。演奏が始まると、憧れの眼差しで見入る子や、身振り手振りで真似をする子など反応は様々でしたが、大人まで感動するような素敵な演奏となり、発表した子どもたちも満足げな様子で、成功した喜びを友達と分かち合っていました。















# みんな一緒に、英語でハロー!

『グッド モーニング!ロバート先生!』今日も元気な声が広がり、大好きな英語の時間が始まります。ダンスやゲーム、絵本を通して学ぶ英語に子どもたちはすぐに夢中になり、英語の楽しさを学んでいきます。今年度、年長児は『キラキラ星』の歌を英語で教えてもらい、最後の時間に歌とハンドベルの演奏

を発表しました。ロバート先生から教えてもらった歌は、今でも大切に歌っています。『シーユーアゲイン!』また来年、ロバート先生と一緒に学べる英語を子どもたちは楽しみにしています。







# 夏といえば水遊び!

太陽が熱く照りつける夏、定番の遊びと言えば水遊び。例年より暑くなる時期が早かったので、長い期間大好きな水遊びを楽しむことができました。最初は水の感触に驚き泣いてしまっていた小さい組の子どもたちも、慣れていくにつれて笑顔いっぱいで保育士や友達と水遊びを楽しんでいました。気温が高く、天気が良い日には子どもたちから「今日は水遊びする?」「水着着たい!」と話す姿がよく見られていました。水遊びを通して、異年齢交流も行うことができ、大きい組の子が小さい組の子に声をかけたり、一緒に遊んであげたりする姿は、とても微笑ましく、子どもたちの成長を感じることができました。







# 同窓会

# المناوية المنافعة الم

# 広げよう学びの友を つなげよう未来の友に

# 等学校学

# 同窓会の皆さま



函館大谷高等学校 創立130周年記念同窓会総会・懇親会

平成30年9月1日 於 ホテル法華クラブ函館

例年9月に開催しております総会は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み中止致しました。2年間のブランクを取り戻すべく、令和4年同窓会総会は盛大に開催したいと思います。

### 函館大谷学園同窓会 事務局 川 嶋 紀 夫



千代台校舎跡地記念碑



# 学 園 人 事

### [退職]

令和3年3月31日付

学園本部

事務局長 樋口 也寸志

### 函館大谷短期大学

准 教 授 鄭 舜 玉 講 師 伊藤 聡 助 教 北 村 希 望

### 函館大谷高等学校

事務主幹 西尾 孝志

### 函館大谷短期大学附属認定こども園

保育教諭 清 奈乃果 保育教諭 浅井 梨沙

函館大谷短期大学附属大野幼稚園

園 長 飯田泰子

函館大谷短期大学附属港認定こども園

園 長 石山真由美

### [採用]

令和3年4月1日付

### 学園本部

事務局長 樋口也寸志 (再雇用)

### 函館大谷短期大学

 脚(種用)
 伊藤
 聡助

 助数
 伊藤
 好一

 助数
 池田
 集

### 函館大谷高等学校

 教
 諭
 斎藤
 武治

 教
 諭
 隈元
 夢乃

 事務主幹
 川手
 直樹

# 函館大谷短期大学附属認定こども園

保育教諭 池 渕 歩 保育教諭 木 村 す ず

### 函館大谷短期大学附属大野幼稚園

嚴係關 飯田泰子

函館大谷短期大学附属港認定こども園園長(再雇用) 石山真由美

### [昇 任]

### 函館大谷短期大学

准 教 授 渡 谷 能 孝 (短期大学講師)

# 学園本部・附属こども園・松前こども園係 長 小町唯信

町 唯信

※( )内前職

# 編集後記

昨年から続く新型コロナウイルスの不安の中、今私たちが子どもたちにできることとは…。コロナ禍での新しい生活様式を踏まえ、行事の見直し、毎日の生活の見直しが行われる中、今までと変わらず子どもたちの成長に必要な"経験"ができるよう保育を進めております。

今年度は、保護者の協力もあり、夏を感じられる体験や普段あまりできない体験を通し、子どもたちの挑戦する気持ち、意欲をもって取り組む気持ちなどが湧き上がる経験を取り入れて行事を行うことができました。保護者の皆様、快く講師をお引き受けいただいた方々、そして、たくさんの人に支えられていることに改めて気づかされ、人の力の大きさを実感しております。

人とのつながりが、大きく人を成長させます。そんな絆を大切に大谷の教育方針の基、子どもたちの明るい未来のために、私たちも日々保育の充実に努力していきたいと思います。

学園報の発行にあたり執筆・ご協力いただいた皆様方に心より感謝申し上げます。

(附属認定こども園 柴田 朋恵)

# ◎ご意見募集…みなさまのご意見、ご感想をお寄せくだされば、うれしく思います。

題 字 理事長 門間 佳一

発 行 学校法人 函館大谷学園

編 集 学園報編集委員会

〒041-0852 北海道函館市鍛治一丁目2番3号 TEL 0138-51-5614 FAX 0138-52-6494 E-mail honbu@hakodate-otani.ac.jp

編集委員 樋口 也寸志 佐渡 敦美 小町 唯信 福田 理沙 渋田 昌士

木戸口 靖之 柴田 朋恵 岡 陽子 沢田 円 松岡 由真

表紙写真 令和3年附属認定こども園で行われた花まつり

財務情報の公開

当学園の財務情報等については、公式ウェブサイトで公開しております。 http://www.hakodate-otani.jp/

